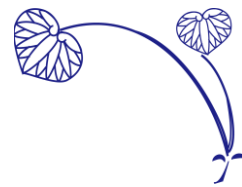


要: 申込

南葵音楽文庫アカデミー秋



プロコフィエフ ゴドフスキー

マルキ
徳川侯爵と親交を結んだ大音楽家たち

2023年9月9日(土) 13:30~15:30

橋本市教育文化会館 3階 第1研修室



マルキ徳川交遊録～ ピアノの巨匠 ゴドフスキー

近藤秀樹 大阪教育大学講師、南葵音楽文庫研究員

レオポルド・ゴドフスキー(1870-1938)は、「ピアニストのなかのピアニスト」と称された巨匠です。頼貞はゴドフスキーが1922年に来日したときに歓談。話題はゴドフスキーの師サン＝サーンスや、エルマン、ハイフェッツらヴァイオリンの巨匠にも及んだようです。今回は、頼貞とゴドフスキーの交遊をたどりながら、ゴドフスキーの音楽を「左手の可能性の探求」に力点を置きつつ取り上げてみたいと思います。



徳川頼貞夫人に贈った写真 南葵音楽文庫閲覧室に展示中



徳川頼貞がワシントン議会図書館 で見たカミングスの旧蔵書

佐々木 勉 放送大学講師、南葵音楽文庫研究員

1921年1月から11月にかけて徳川頼貞は、音楽界と音楽図書館の視察のために欧州を巡りました。《蒼庭楽話》にいう「第二次外遊」です。その帰途、頼貞



は、アメリカのワシントン議会図書館を訪れ、そこにもカミングスの旧蔵書が収蔵されていることを知ります。はたしてその旧蔵書はどのようなものだったのか、そしてそれを目の当たりにした頼貞の胸中を推察します。オスカー・ソネック 1873-1928 議会図書館の音楽部門長 (1907-12)

南葵音楽文庫アカデミー秋

聴講申込 8月9日(水)～

→申込方法は裏面をご覧ください

2023年9月10日(日) 13:30~15:30

和歌山県立図書館(本館) 2階 講義・研修室



マルキ徳川交遊録～ プロコフィエフとの出会い

近藤秀樹 大阪教育大学講師、南葵音楽文庫研究員

セルгей・プロコフィエフ(1891-1953)は1918年、革命直
て新大陸に向かいます。日本滞在中に演奏活動を行い、頼貞にも会っています。頼貞はプロコフィエフにソナタの作曲を注文しますが、なぜか曲は書かれずじまいでした。幻に終わったソナタと、プロコフィエフが頼貞に楽譜を献呈した《スケルツォ》を中心に、二人の交友を辿ります。



1918年頃のプロコフィエフ



プロコフィエフ来日譚～ 大田黒元雄とプロコフィエフ

林淑姫 元日本近代音楽館主任司書、南葵音楽文庫研究員

1918年のプロコフィエフの来日にかかわったもう一人の重要人物大田黒元雄(1893-1979)を紹介します。音楽評論家大田黒元雄は当時の日本でプロコフィエフの来日の1か月前に刊行した新著のなかでストラヴィンスキーに続く期待の新進作曲家として彼を紹介しています。大田黒元雄とプロコフィエフの交わり、そして徳川頼貞との交遊について紹介します。



南葵徳川音楽塾 2023年9月10日(日)11:00~11:45

聖セシリアの祝日のための頌歌～H.パーセルと宮廷行事

講師: 佐々木勉

南葵音楽文庫閲覧室 [申込不要]

費用：無料

申込方法：下記いずれかの方法でお申し込みください。受付後に受付番号券を配付(送付)します。申込者が複数の場合、必ず代表者を含む全員の氏名及び希望する日程を明記してください。

①和歌山県立図書館に直接来館

橋本市図書館に直接来館

②FAXで申込書を送付する

※返信先のFAX番号を必ず記入してください。

和歌山県立図書館 FAX 073-436-9511

③メールで申し込む

《入力内容》

・申込者の氏名 ・希望する日程 ・電話番号

・返信用アドレス（返信メールを受信できるように設定ください）

（申込専用アドレス）

E-mail event@lib.wakayama-c.ed.jp

④往復ハガキで申し込む

《記入内容》

・申込者の氏名 ・希望する日程 ・電話番号 ・住所

（あて先）〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7-38

和歌山県立図書館 サービス課

※駐車場の台数が限られていますので、できる限り公共交通機関でお越しください。

『令和5年度南葵音楽文庫アカデミー 秋』申込書(来館・FAX用)

参加者氏名等及び希望する講座に○を記入してください。

フリガナ 氏名	9月9日 (橋本市)	9月10日 (和歌山市)
電話番号		
FAX番号		

複数で申し込みの場合は、下記に氏名及び希望する講座に○を記入してください。

1		
2		

問い合わせ先

和歌山県立図書館 サービス課

TEL073-436-9520

FAX073-436-9511